

『靴に関する文献と稀観書』

司書2課長 平井紀子

図書館には靴に関する西洋文献が約50点所蔵されている。その中の特色のあるものを昨年の8月から10月のあいだ4階の常設展示ケースに展示した。このときの文献をもとに靴を調べるにはどんな西洋文献があるかを紹介する。

靴は歩行のとき足を保護する目的と装飾のために古代エジプト期から用いられたが、時代の歴史的背景や履く人の身分、階級により、あるいは気候や風土など地域的な条件のもとで様々なものが出現してきた。種類も材料別によるもの、年令、性別、目的別によりいろいろある。現代では、装いの一部としてドレスに合わせて着用され、ファッション性も高いが、一方、靴本来の機能性も、また見直されてきている。

わが国で靴にあたる英語はシュー (shoe) で、通常左右そろいでシューズ (shoes) と複数で呼ばれるが、イギリスではシューズは短靴をさし、長靴をさすブーツ (boots) と区別することが多く、両方を含む用法はおもにアメリカにおけるものといえる。また、仏語でシヨシユール (chaussure)、独語ではシューエ (Schuhe) であるが、種類により異なった用語もある。

靴の文献はNDC分類法では、383.2の「冠帽・履物」と589.253の「製造工業」の「靴」などの網目に分類される。383は生活の習俗を扱うところであるから、靴の歴史などの文献はここに入る。同じ靴でも、製造を扱ったものは5門の「工学」に入り、内容によって区分される。網羅的に靴の文献を探すには「服飾文献目録・欧文編」¹⁾を活用するとよい。正・続編の2冊が出ているが、この目録の分類表では、4. Accessories の4.1 Hat・Shoes の項にまとめてある。本欄では正・続編あわせ、

さらに続編刊行以降の最新の受入れ分をも含めて紹介する。

図書館所蔵の靴の文献を見ると、1900年以前に刊行された古い専門書は、そのほとんどが靴の製造や靴屋に関わる人が執筆しており、はきものとしての靴の材料である皮革や機器道具、作り方をおもなテーマとしている(稀観本などの非常に古い1600年代の本では肖像画の一部として靴が描かれているものもあるが)。装いという観点で靴の専門書が著されるのは19世紀後半になってからのようである。

靴の文献を大きく類別すると、靴の歴史・全般、靴製造を中心とするもの、図集(図版が主体のもの

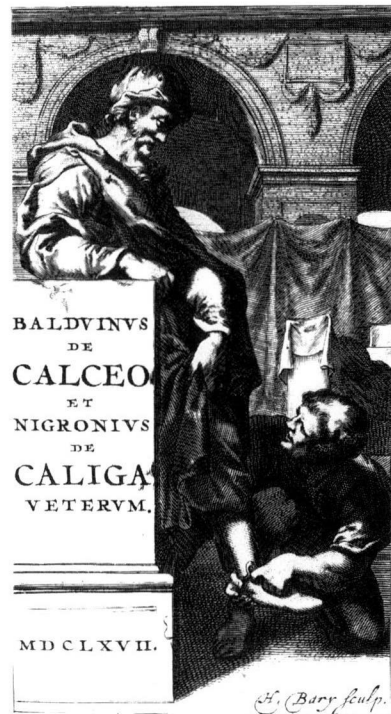


図1 ①『古代の靴…』(1667年刊)の標題紙前扉

の)、機能・その他、に分けられる。以下、それぞれ刊年順に文献をあげるが、例えば、製造や機能を主題にしている文献でも、最初の一章や内容のどこかで歴史に触れており、調べるテーマにより、多くの文献を見ることが望ましい。また、靴は一般のファッション史のなかで衣装と合わせて解説されているので、服飾史(383.1, 383.13)も見る必要がある。

I 靴の歴史・全般

I. 1 歴史・全般

① Balduinus, B.: De calceo antiquo, et Jul. Nigronus: De caliga veterum. 1667 (383.1-B) 『古代の靴…』13×8cmの小型本でベラム装丁の稀艱本。ラテン語の3冊からなる合綴書。うち2冊は靴の本で、ヒラー²⁾、コラ³⁾の書誌に載っているが、本館所蔵のものは、そのうしろに、かぶりもの本が付いており、珍しいのではなからうか。内容については調査できなかったが、図は鮮明な銅版画で描かれており、ほかに同じく銅版画の折り込みの図版7枚が挿入されている。1667年という非常に古い刊本で印刷術が発明された初期の印刷形態をとっており、書誌学的にも興味深い本である。

② Hall, J. S.: The book of the feet; a history of boots and shoes. [1846] (383.2-H) 『足の本; 長靴と短靴の歴史』著者はイギリス、ベルギーの王室御用靴屋。内容はエジプト人、ギリシャ人、ローマ人などの靴の図版とイギリスを中心にヨーロッパで流行した靴について、古代エジプトから18世紀までを歴史的に考証している。詳細はコレクションp.161を参照。

③ Doucet, J.: Chaussures d'antan. 1913 (383.2-D) 『昔の靴』中世から18世紀頃までの靴。ルイ14世の靴屋をはじめフランスを中心にイタリア、イギリス、スペインの靴、軍靴、長靴などを解説している。

④ Wilcox, R. T.: The mode in footwear. 1948 (383.2-W) 『はきものの歴史』時代及び地域別に

解説してある。図が多く、一部彩色したものもみられる。入門書としては好資料。

⑤ Das Buch vom Schuh. 1957 (383.2-B) 『靴の本; 商会75年を記念して』靴の歴史、靴製造の歴史的回顧、靴の流行史。

⑥ Wilson, E.: A history of shoe fashions. 1969 (383.2-W) 『靴のファッション史』

⑦ Brooke, I.: Footwear; a short history of European and American shoes. 1971 (383.2-B) 『はきもの; ヨーロッパとアメリカの靴小史』

⑧ Roux, J. P.: La chaussure. 1980 (383.2-R) 『はきもの』流行、足にかわるはきもの、不思議な靴とおとぎ話の靴、兵士の靴など。

⑨ Probert, C.: Shoes in Vogue; since 1910. 1981 (382.2-P) 『ヴォーグに掲載された靴; 1910年から』1979年までヴォーグ(各国版)に載った靴。

⑩ Swann, J.: Shoes. 1982 (383.2-S) 『靴』イギリスを中心に17世紀から今日までの靴の変遷を解説。

⑪ Girotti, E.: Footwear; history and customs. 1987 (383.2-G) 『はきもの; 歴史と習慣』時代順にカラー写真と解説がある。

⑫ Institut de calcéologie; association nationale pour l'étude de la chaussure. 4v. 1982-1990 (383.206-I) 『靴学会; 靴研究の国立協会会報』

⑬ Ledger, F. E.: Put your foot down; a treatise on the history of shoes. 1985 (383.2-L) 『足を踏みしめなさい; 靴の歴史に関する論文』

⑭ Morrow, K. D.: Greek footwear and the dating of sculpture. 1985 (383.2-M) 『ギリシャのはきものとその時代の彫刻』アルカイック時代からヘレニズム時代までの履物研究、美術館にある彫刻にみられる履物の年代記。

⑮ McDowell, C.: Shoes; fashion and fantasy. 1989 (383.2-M) 『靴; ファッションとファンタジー』

⑯ Weber, P.: Schuhe; Drei Jahrtausende in Bildern. 1989 (383.2-W) 『靴; 図版にみる3000年』古代から20世紀初頭までの靴の歴史。

①Z. B. Schuhe. 1991 (383.2-Z) 『靴』素足からハイヒール、履物の歴史。

I. 2 靴の各国史

⑱The shoe show; British shoes since 1790. 1979 (383.2-S) 『靴の展覧会；1790年以後のイギリスの靴の歴史』靴の歴史、職人と工房、作り方の未来、'79年12月から'81年1月までイギリス各地で開催された展覧会。

⑲Italian footwear through the ages. 1979 (383.2-I) 『イタリアの靴の歴史』17世紀から20世紀までの各時代を代表する靴の写真と解説。

⑳Texas boots. 1981 (383.2-T) 『テキサスのブーツ』生業と製造、カウボーイブーツなど。図版が美しく豊富。

㉑Thompson, J.: Pride of the Indian wardrobe. 1990 (383.2-T) 『インディアン自慢の衣装』アサバスカインディアンの衣装と袋飾品。カナダ、北米インディアンの履物。

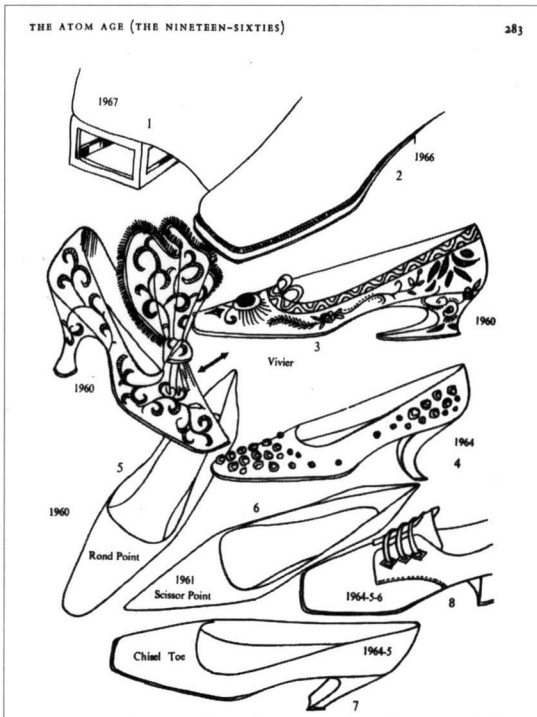


図2 ㉒『靴のファッション史』から。アトム時代(1960年代)の靴

㉒Turnau, I.: Polskie skórnictwo. 1983 (584-T) 『ポーランドの製革』皮革の扱いかた、靴の製造法など。

II 靴製造を中心とするもの

㉓Garsault, F. A. P.: Der Schuster. 1769 (589.253-G) 『靴屋』靴の歴史、靴屋の様子とその技術、材料、製造の道具と使用法、革の縫い方、寸法などを解説。銅版画の図版がある。詳細はコレクp.160参照。

㉔Art de la chaussure. 1824 (383.2-A) 『靴の技術』靴の修理屋が使用する材料、親方のアトリエ、靴屋、市民のはく長靴、軍靴、丈夫な靴など。技術と職業の新百科シリーズの一卷。

㉕Lacroix, P.: Histoire des cordonniers et des artisans dont la profession se rattache a la cordonnerie. 1852 (383.2-L) 『靴と靴職人の歴史』靴と靴職人の世界を客観的、文献学的に記述している。靴の歴史、靴職人の歴史、同業組合の規約、紋章の4部からなっている。詳細はコレクp.162参照。

㉖The boot and shoe-maker's assistant; containing a treatise on clicking. 1853 (589.253-B) 『靴製造業への援助；靴の裁断の論文』科学的に考えられた靴の木型、靴の型紙60枚、靴の歴史など。

㉗The boot and shoe manufacturers' assistant and guide. 1858 (589.253-B) 『靴製造業の援助と案内』靴業の発生と発達、インドゴム、製革法、アメリカの Patent と請求など。

㉘Hannibal, A.: Last-fitting and pattern cutting. 1888 (589.253-H) 『足にあった靴と裁断』くつ手工業における科学と技術の実際的な論文。

㉙Wright, T.: The romance of the shoe; being the history of shoemaking in all ages....1922 (383.2-W) 『靴のロマンス；靴製造の歴史、とくにイギリス、スコットランドを中心に』

㉚Plucknett, F.: Boot and shoe manufacture.

[1931](589.253-F)『ブーツ(長靴)と短靴の工業』

③①Ferragamo, S.: Shoemaker of dreams; the autobiography of Salvatore Ferragamo. 1957 (593.028-F)『靴屋の夢; サルバトーレ・フェラガモの自伝』

③②Dobbs, B.: The last shall be first; the colourful story of John Lobb the St. James's bootmakers. 1972(589.253-D)『最後が一番最初になる; ジェームズ通りの靴屋ジョン・ロブの華やかな物語』ロブ一族に最初の靴屋が誕生するところ(1829年)からパリとニューヨークに支店を持ち、イラン国王や英国マクミラン首相などの名高い顧客を持つようになった今日までの話。

③③Lang, J.: The worshipful company of cordwainers 1439-1979. 1980 (589.253-L)『高名な靴屋商会・1439-1979』中世から現代までのロンドンの靴作りの発達、起源から正式な靴屋としての承認と繁栄から現代までの承継について。

③④Swann, J.: Shoemaking. 1986(589.253-S)『靴の製造』ヨーロッパの靴の歴史、靴の製造など。

III 図集

③⑤Greig, T. W.: Ladies' old-fashioned shoes. 1885 (383.2-G)『古風な婦人靴』著者であるグレイクが収集した婦人靴11点を色刷り石版にし、解説を加えてまとめた見事な図版集。16世紀末から19世紀初期の靴で、ほとんどが実物大に描かれており、着用者も記されている。詳細はコレクp.164参照。

③⑥Frauberger, H.: Antike und Frümittelalterliche fussbekleidungen aus Achmin-Panopolis. [1896] (383.2-F)『アーヒム、パノポリス地方の古代から中世初期のはきもの』ドイツの地方ではかれた靴。石版色刷り25枚の図版と解説がある。

③⑦Greig, T. W.: Ladies' dress shoes of the nineteenth century. 1900 (383.2-G)『19世紀の婦人靴』③⑤と同一著者の作品。21枚の実物大色刷り石版画集。

③⑧A history of shoe fashions. 1975 (383.2-N)『靴のファッションの歴史』ノーサンプトン美術館のコレクション。

③⑨Leaders of fashion Salvatore Ferragamo (1898-1960). 1985 (383.2-F)『S・フェラガモのファッションシューズ』イタリアの靴デザイナーS. フェラガモの靴の展覧会図録。

IV 機能、用途ほか

④⑩Der Herrenschuh; sein Zweck seine Funktion. [19-](383.2-H)『紳士靴; 目的と機能』ことわざ、迷信、詩にあらわれた靴、運動と靴、規格と靴など。

④⑪Der Dermenschuh; im Spiegel des Zwecks und der Schönheit.[19-] (383.2-D)『婦人靴; 機能と美』靴の美、足と靴、歩くこと、運動すること、靴の飾り。歴史についても解説されている。本書は④⑩と同じ出版社から刊行されており、大きさも同じ。20世紀の初頭、対で出されたと思われる。21.5×17.5cmの瀟洒な本。

④⑫Rossi, W. A.: The sex life of the foot and shoe. 1976 (383.2-R)『男性、女性の足と靴』男性と女性の靴の精神的、生理的な側面を解説している。

④⑬Sorine, D. S.: Dancershoes. 1979 (769-S)『ダンスシューズ』43人のバレリーナやダンサーがダンスシューズについて語ったエッセー。愛用のシューズを写真入りで紹介。

④⑭Liu, A.: Shoes time. 1986 (383.2-L)『靴に関する時間』芸術としての靴、セックスとシングルの靴、シュービジネス、ボトムラインなど靴の社会的、心理的側面の考察。

注)

1) 文化女子大学図書館所蔵 西洋服飾関係欧文文献解題・目録 [正]・続 1980, 1990

2) Hiler, H. & M. Bibliography of costume. 1939. p.70

3) Colas, R. Bibliographie générale du costume et de la mode. 1933. p.67

4) 『文化女子大学図書館所蔵 西洋服飾ブックコレクション』の略、以下同じ